ブラジル訪問記

地球の裏の日本人

立川幸一

沢海土づくり会などで活躍し、農業経営に意欲的に取り組んでいる立川幸一さん（沢海・三十六歳）が、新潟県農業青年ブラジル派遣研修（主催県農林水産部）の副団長として、県内の十名と共に一月十三日から二十五日まで、サンパウロ州やパラマ州の本県出身で大型農業を営む開拓農家を訪問し、体験学習や視察研修を行ってきました。この研修のブラジル訪問記を寄せていただきましたので紹介します。

市村之氏のラミー畑にて（南部団長、之氏、立川さん）

私たちが最初の目的地イグアスに着いたのは、成田を出発してから二十八時間程経過した十四日のお昼過ぎでした。

途中飛行機の窓から眼下に見えたのは、一面のアマゾンのジャングル地帯やその中を濁って曲りくねって流れる大きな川、そして所々に肌を出している真っ赤な土など、日本とは全く違った景観でした。気候は真夏で日中は暑いが、朝夕は涼しく「今年は異常な長雨」ということでしたが、私たちが着くと同時に晴れ渡り、大変快適に過ごすことができました。

この地で時差ボケ解消と観光を兼ねて二日過ごし、次にブラジルの産業、経済の中心地サンパウロへ行き、現地県人会の熱烈な歓迎をうけた後、六班に分かれそれぞれファームステイにお世話になり、私と佐渡の矢田さんは、サンパウロ市郊外五十キロのモジ町にある、柿と野菜の農業経営をしている五泉市出身で一世の山崎さん宅にお世話になりました。

二日間、山崎さんの案内で果樹をはじめ野菜を作っている日系人の家を数軒訪問し、柿、ブドウ、稲、ジャガイモ、ゴボウなどの畑の見学と詳しい説明をうけるとともに、大歓迎され農業の話だけでなく、政治の話から日常生活の事など多方面に話が弾み、時間の過ぎるのを忘れるほどでした。また、日系二世、三世のまだ日本に来た事のない人達でも日本語が上手で、ブラジル語（ポルトガル語）のニガ手な私たちは大いに助かりました。

続いて、パラナ州ウライ市を訪れ、本村出身の市村之氏、潤二氏両氏の農場見学をしました。兄之氏の自宅には、私たちを歓迎すべくパラナ県人会の方々が待ちうけており、農場視察の後にはプールサイドでの昼食パーティを開いていただきました。さらに翌日は、弟潤二氏の所有している牧場や麻、大豆、稲などの大圃場、麻加工工場、と殺場、精肉店などを視察し、またここでも家族とのパーティを催していただき、大変な歓迎をうけました。

こうして二週間という短い期間ではありましたが、私にとっては人生観が変わるほどの体験をさせてもらいました。

今振り返って思う事は、世界最大級のダムや滝、地平線まで見渡せる畑などよりも、ブラジル日系人の方々の親切なやさしい顔、日本にあこがれいつか訪れたいという希望に満ちた顔、そして異国の地で事業家として生きている方々の苦労を乗りこえてきたきびしい顔が強く脳裏に浮かびます。祖国日本に感謝し、日本の文化を大切にし、日系人としての誇りを持っている彼らは、国籍は違うがまさに地球の反対側に住んでいる「日本人」であると思います。

スルメ募金を福祉事業にと寄付
青少年育成村民会議横越中支部

助役に寄付金を手渡す児童代表

青少年育成村民会議横越中支部では、毎年大晦日の恒例となっているスルメ募金を行い、田中克彦君ら子供たち代表が二月十七日、役場を訪れ佐藤助役に売上純益二万円を「村の福祉事業に役立ててください」と手渡しました。

佐藤助役も心暖まる寄付に感謝し、労をねぎらいました。

村から寄付金をうけた村社会福祉協議会では、子供たちの意志に沿うよう役立たせたいと感謝しています。

善意をありがとうございました

過日、亡くなられました故風間講平氏の遺志としてご遺族風間憲男氏より、福祉事業資金にと三十万円が村に寄付されました。

村では、故人のご遺志に従い村社会福祉協議会に伝達いたしました。

村社会福祉協議会では、ご厚志に沿うよう役立たせたいと感謝しています。

横越社交ダンス愛好会
初心者を募集

普段あまり運動する機会のない方、美容と健康のために楽しくダンスを習って若返ってみませんか。

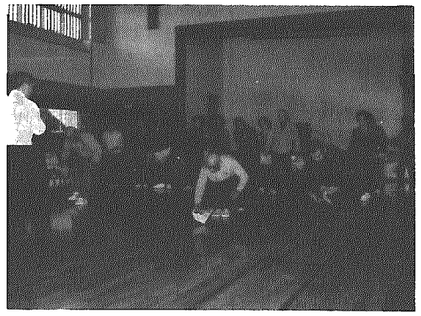
▼**練習日時**
毎週水曜日
〈初心者〉
午後六時三十分～七時三十分
〈その他の人〉
午後七時三十分～九時三十分
▼**講　師**
新家先生　（亀田町）
▼**会　費**
一、〇〇〇円（月額）
（申込料は別に一、〇〇〇円いただきます）
▼**募集締切**
三月十五日(木)まで
（男女ペアーで申込みのこと）
▼**問い合わせ**
横越村公民館
▼**申し込み先**
小木光興（☎三八五―三一八七）へ

「なんでも相談」のご利用を
3月20日(火)
午前9時～午後4時
役場村長室

地域公民館

多彩な活動を展開

＝小杉公民館＝
健康教室でいきいき


ゲームで和やかに楽しむ参加者

小杉公民館では、昨年の十二月から健康教室を開いてお年寄りに大変喜ばれています。外でゲートボールができなくなる十二月から三月の間、お年寄りや婦人会の人たちも参加して、毎月二回村の公民館長や保健婦を講師にして、健康などの講演のほか、軽く体を動かすゲームなどを行い、楽しみながら健康づくりを進めているものです。

社会教育ガイド

3月の公民館事業
〈場所は横越村公民館〉

■絵画教室
期日　3月12日(月)、26日(月)
時間　午後1時30分
■高齢者大学
期日　3月16日(金)
時間　午前10時
内容　午前…講　演
　　午後…閉講式
（参加費 1,500円）

＝藤駒公民館＝
花積氏招き村づくり講演会

ユーモアある講演に熱心に耳を傾ける

二月十一日藤駒公民館では、人生相談などでおなじみの花積正夫氏を招き「明るい村づくり」をテーマに講演会を開きました。

当日は、悪天候にもかかわらず、駒込会館には若い人からお年寄りまで多くの人が会場いっぱいに詰めかけ大盛況となりました。

花積氏は、明るい家庭づくりが明るい村づくりにつながる。その明るい家庭をつくるおおもとはかあちゃんであると話され、またよい家庭をつくるには、お互いに小さいことを大事にすることが大切であり、それぞれの立場でなすべきこと、果たすべき役割などが強調されました。また特有の会津なまりとユーモアを交じえた熱弁に感動させられ、参加した人たちは、笑いのなかにも時には大きくうなずきながら熱心に聞き入っていました。

二月八日には、増築して広くなったコミュニティセンターの多目的ホールで、寒い時期での入浴のしかた等についての講話や、レイ送り、新聞渡りなどのゲームや踊りの指導が行われ、八十一歳のおばあちゃんをはじめ三十人余り参加した皆さんは、会場に大きな笑いや歓声がこだまする和やかな雰囲気で、心地よい汗を流していました。

参加したお年寄りからは、「みんなで集まって、頭を使ったり、体を動かしたり、大いに笑ったりすることは大変よいことだと思う。次の集まりの日が楽しみ」と好評でした。

＝横越下公民館＝
名作に親しみ文化高める

名作に多くの人がふれる

横越下公民館では、二月十一日名作に親しむ会を開き、地域住民の文化意識の高揚を図りました。

会場の下部落会館には、地区内六名の方の協力により、こしの千涯、小林日昇、覧龍禅師などの書画三十二点が展示されました。この名作に親しむ会は昨年に引き続いての二回目とあって、地域住民にも催しの主旨が浸透しており、多くの人が鑑賞に訪れ名作にふれていました。

また、会場では訪れた人たちによるお茶飲み話もはずみ、昔の地域文化にまつわる話題も多く出されるなど、住民の交流も深められていました。

剣道教室加入者募集
横越村剣道連盟

剣道教室では、次により一般及び家庭婦人の加入者を募集しています。

▽**練習日時**
毎週土曜日
午後七時～八時三十分
▽**練習場所**
横越小学校体育館
▽**会費**
年会費三千円（保険料含む）
▽**申し込み・問い合わせ**
横越村公民館内体育協会事務局へ。
※初心者、経験者問わず歓迎

俳句募集

▶**句　題**　春一番（はるいちばん）、猫柳（ねこやなぎ）、卒業（そつぎょう）
▶**締切日**　3月26日(月)
▶**投稿方法**
はがきまたは封書で6句以内
紙上筆名の際も原稿末尾には本名、年齢、住所を明記
▶**あて先**　横越村公民館「文芸作品係」